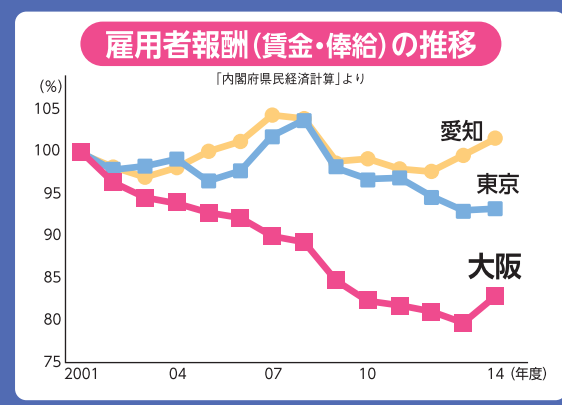
カジノより防災・くらし応援の声を！

6月18日の大阪北部地震、6月28日の豪雨、9月4日の台風21号など大阪府民は大変怖い思いをしました。

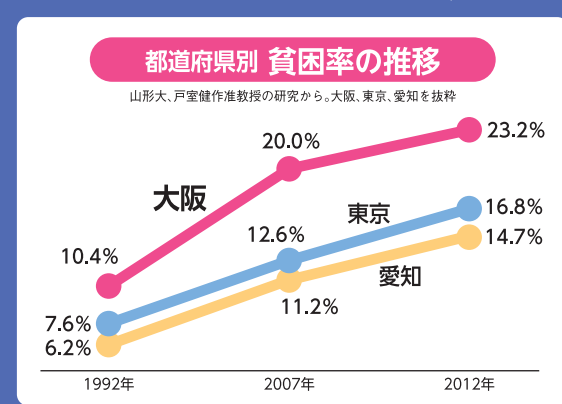
そして今後30年の間に南海トラフ地震・津波が起きる確率は70%～80%と予測され、地球温暖化で巨大台風がまた襲ってくる懸念があります。

カジノ・万博に莫大な税金を投入するより、くらしの応援や防災対策に使うことが大切です。

維新の府・市政で府民のくらしは確実に悪化しています。巨大開発に税金を使わずくらし応援に回しましょう！



落ち込む大阪の経済とくらし



カジノ・万博には巨額の税金が…

会場建設費用どこまで増える？

東京オリンピックでは、当初7,340億円の費用が3兆円へと4倍も膨れ上がりました。

万博会場建設費の1,250億円（国・民間・自治体で1/3ずつ）も大きく増える危険があります。

南海トラフ地震・津波の被害想定

経済損失29兆円、死者11万4千人（大阪府）

カジノの経済効果が2兆円などと宣伝されています。一方、大阪府が昨年末に発表した南海トラフ地震による経済損失はその15倍にもなる29兆円です。

大阪府民の生命とくらしを守ることが最優先です。

夢洲ってどんなところ？

維新の会がめざす夢洲でのカジノ・万博は、バブル時代の「ハコモノ行政」の誤りを繰り返すだけです。

（大阪市港湾局HPより）

Point 1 ソーラーパネルで発電

標準的な家庭の電力消費量の約3,200世帯分を発電しています。

Point 2 ゴミの最終処分場

あと10～20年は使用可能。早期に埋めればゴミの有料化につながります。

Point 3 物流拠点・コンテナターミナル

海外との物流の拠点。カジノ・万博の工事で物流拠点の機能がマヒする心配が…。

台風21号で倒壊したコンテナ

Point 4 船の航路確保のための海底の土砂や建設残土を埋める所

万博会場のために他所から土を買い（136億円）30ヘクタールも埋め立てるというバカげた計画が…。

（大阪民主新報 提供）